

石川県地震概況（令和8年2月）

令和8年3月16日
金沢地方気象台

1. 概況

令和8年（2026年）2月に石川県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は3回（前月12回）で、いずれも令和6年能登半島地震の活動域及びその周辺（図1の領域a）で発生しました。

令和6年能登半島地震の活動域とその周辺では、地震活動が継続しています。（令和8年3月 地震防災メモ②を参照）。

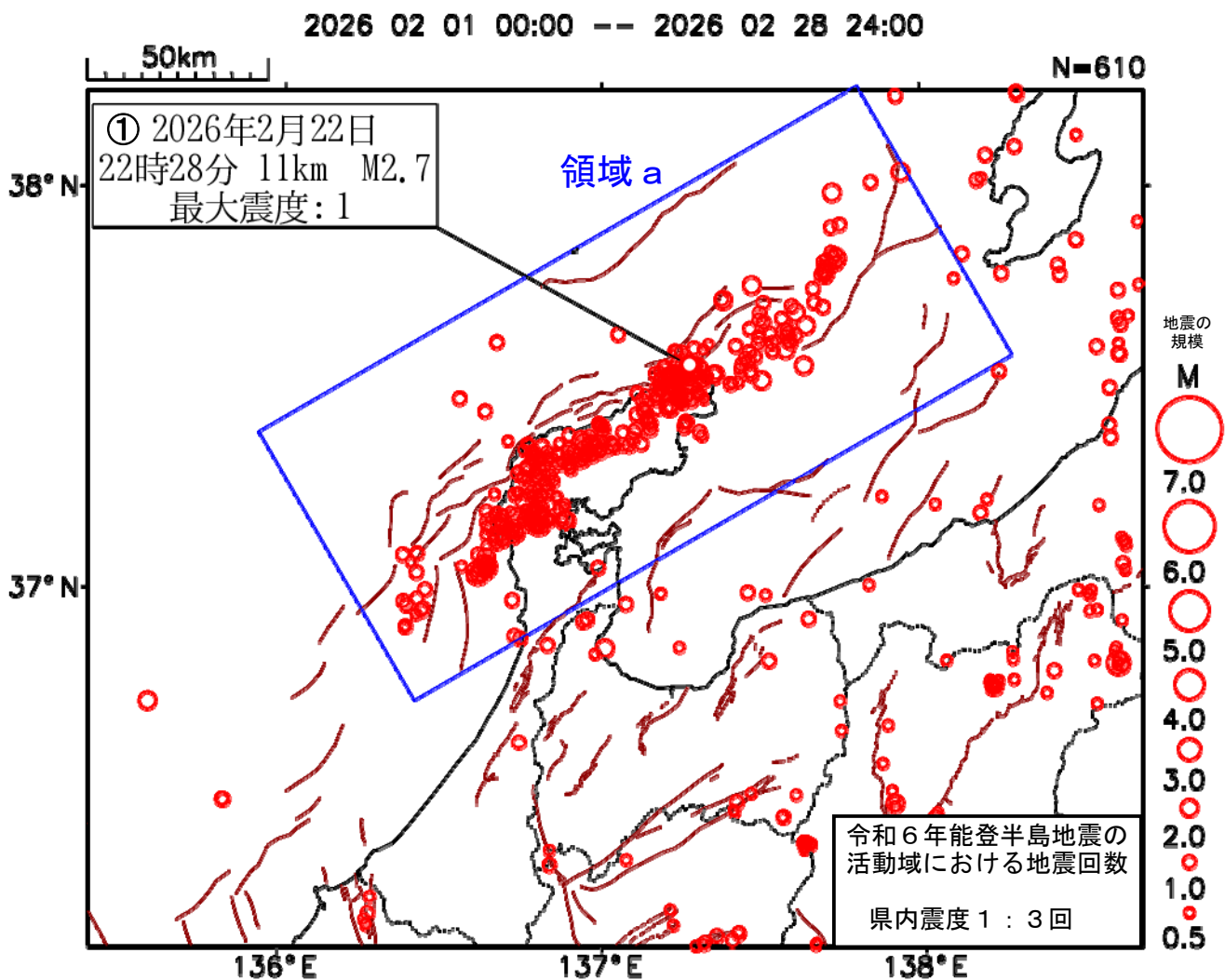


図1 令和8年（2026年）2月の深さ30km以浅、M0.5以上の地震の震央分布図
地殻内で発生した地震のみ表示しています。

図の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

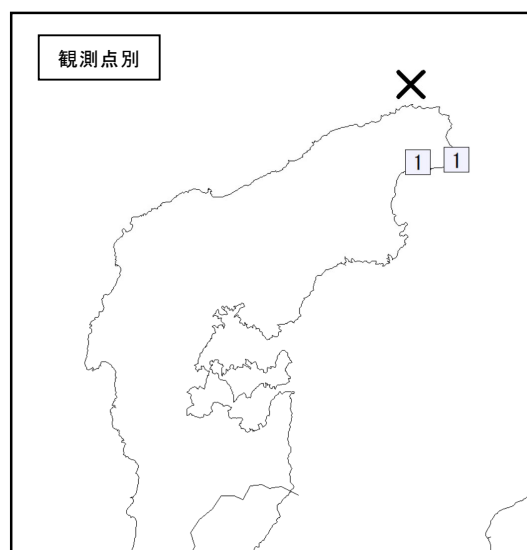
①などの数字は4項「震度1以上を観測した地震の表」の地震を示しています。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

2. 過去1年間に石川県内で震度1以上を観測した地震の震度別回数表

年	2025年											2026年		
月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	
震度1	7	10	6	7	5	12	6	5	3	10	7	3	81	
震度2	3	3	2	1	0	2	1	1	0	4	1	0	18	
震度3	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3	0	7	
震度4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	
震度5弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	12	13	9	8	5	14	8	6	3	16	12	3	109	

3. 令和8年（2026年）2月に石川県内で震度1以上を観測した地震の震央と震度分布図



① 2月22日22時28分 能登半島沖
深さ 11km M 2.7



② 2月23日20時07分 石川県能登地方
深さ 10km M 2.4



③ 2月26日12時22分 石川県能登地方
深さ 11km M 2.7



4. 令和8年（2026年）2月に石川県内で震度1以上を観測した地震の表

番号	地震の発生日時	震 央 地 名	緯 度	経 度	深 さ	地震の規模
		各地の震度				
①	2月22日22時28分	能登半島沖	37° 33.7' N	137° 16.4' E	11 km	M 2.7
		震度1：珠洲市三崎町, 珠洲市正院町 *				
②	2月23日20時07分	石川県能登地方	37° 10.5' N	136° 49.1' E	10 km	M 2.4
		震度1：穴水町大町 *				
③	2月26日12時22分	石川県能登地方	37° 10.5' N	136° 52.9' E	11 km	M 2.7
		震度1：穴水町大町 *				

石川県で震度1以上を観測した地震について、石川県内の各地の震度を掲載しています。

* の付いた観測点は石川県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点、他は気象庁の観測点です。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

※この資料に関する問い合わせ先 金沢地方気象台 地震担当 電話番号 076-260-1462

金沢地方気象台ホームページにも掲載しています。 <https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/siryou.html>

「トップページ」>「気象台の刊行物・観測統計資料」>「農業気象速報・気象概況・地震概況・気象年報」から閲覧できます。

※本資料中のデータについて

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています

深発地震の揺れの特徴（異常震域と呼ばれる現象）

今期間（令和8年（2026年）2月24日）、富山湾の深さ259kmと深いところでM4.6の地震が発生しました。この地震で福島県浪江町と埼玉県加須市で震度1を観測しましたが、震源から距離の近い富山県や石川県では震度を観測しませんでした（図1）。

一般的に震源が浅い地震では、震央に近いほど同心円状に大きな震度を観測します（例として図2）。一方、図1のように震源が深い場合（深発地震）は離れた太平洋側の地域で強く揺れる現象が見られるようになります（異常震域と呼ばれます）。これは、日本列島の下に東側から沈みこんでいる太平洋プレートの内部の深い場所で地震が発生すると、地震波は太平洋プレート内を効率的に伝わることから減衰しにくく、あまり弱まらずに太平洋側に伝わるためです（図3）。

1990年5月17日にも深さ272kmでM5.2の地震が発生し、富山県や石川県では震度を観測しませんでした。太平洋側で震度2を観測した事例があります。

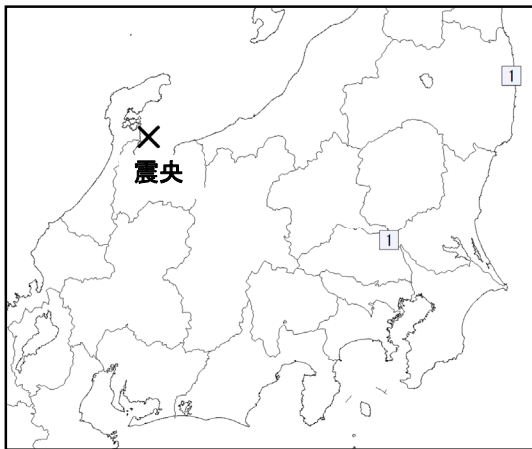


図1 2026年2月24日 深さ 259km M4.6
富山湾の地震の震度分布

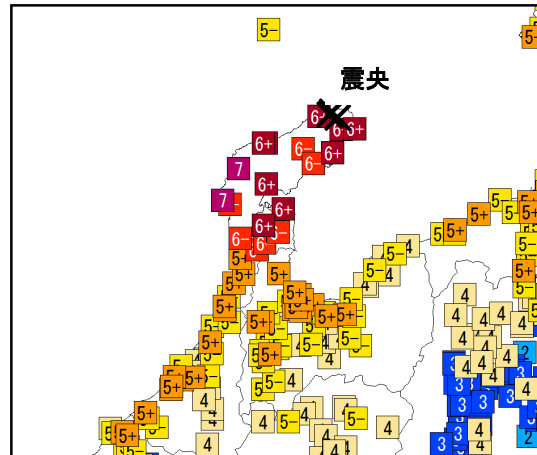


図2 2024年1月1日 深さ 16km M7.6
石川県能登地方の地震の震度分布

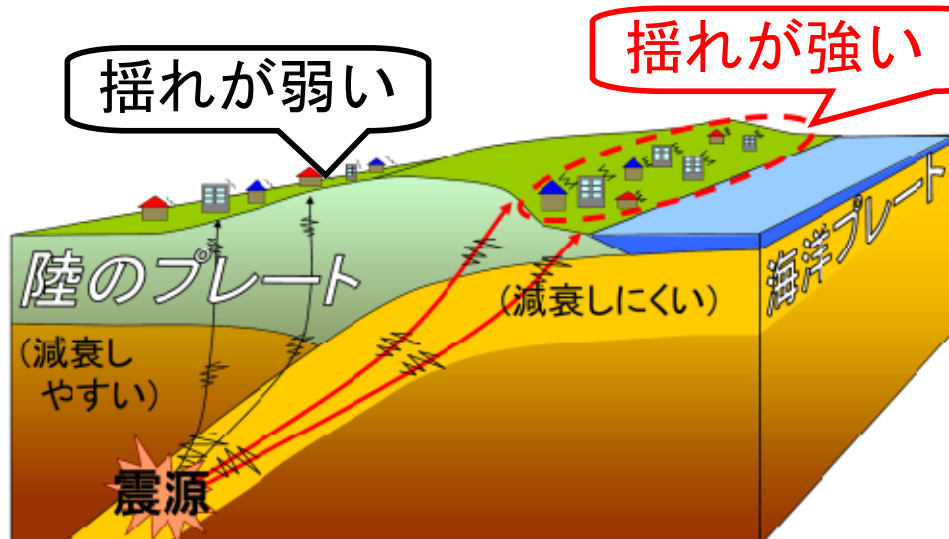


図3 海洋プレート（太平洋プレート）深部の地震の波の伝わり方と減衰の模式図

令和 6 年能登半島地震の活動域とその周辺で地震活動が継続中 ～「令和 6 年能登半島地震の地震活動と防災事項」を転載～

令和 8 年 3 月 地震防災メモ②
金 沢 地 方 気 象 台

【防災事項】

- 2024 年 1 月 1 日に発生した M7.6 の地震により揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているので、復旧活動などを行う場合には今後の地震活動や降雨の状況に十分注意。やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図る。
- 石川県では、大雨の影響で地盤が脆弱になっている場所があり、土砂災害の危険性が通常より高いと考えられる。
- 冬季に積雪量が増えると地震時に住宅にかかる負担が大きくなることから、住宅等の屋根の積雪状況についても留意。

【概況】

石川県能登地方では、2020 年 12 月から地震活動が活発になっており、活動当初は比較的規模の小さな地震が継続する中、2023 年 5 月に M6.5、2024 年 1 月に M7.6、2024 年 11 月に M6.6 などの比較的規模の大きな地震も発生した。M7.6 の地震の活動域では、地震活動が低下してきているものの、2 月に入って震度 1 以上を観測した地震が 3 回発生するなど継続している。

今期間（2 月 17 日以降）、震度 1 以上の地震を 4 回観測した。今期間の最大規模の地震は M2.8 の地震（3 月 2 日 00 時 56 分、珠洲市で震度 1）である。

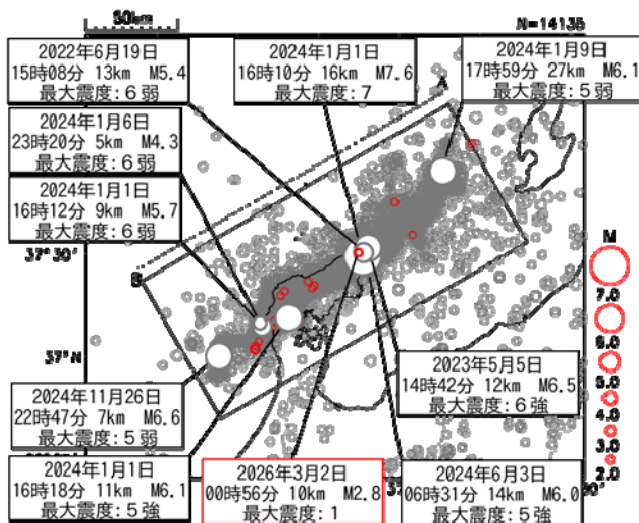
※震度は震度計のある場所で観測したものを発表している。震度 1 以上の地震情報を発表していない場合でも、震源直上の現地では揺れや音などを感じている場合もある。

震央分布図 2020. 11. 1~2026. 3. 2 24時まで

M2.0以上、深さ30km以浅

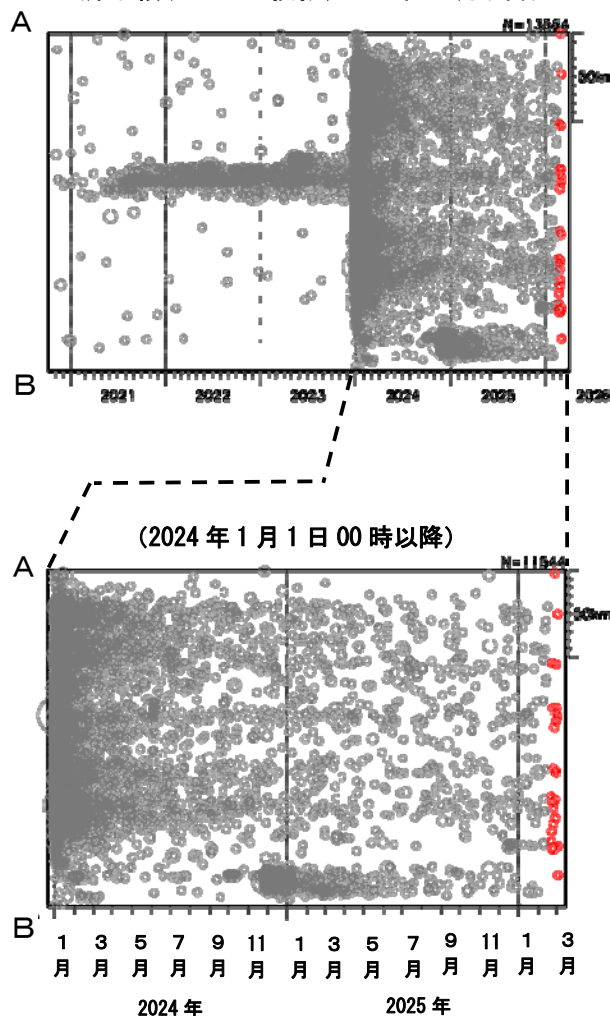
黒の吹き出しは、震度6弱以上
またはM6.0以上の地震

※2月17日以降の地震を朱色で表示
(赤の吹き出しは期間内最大M及び最大震度の地震)

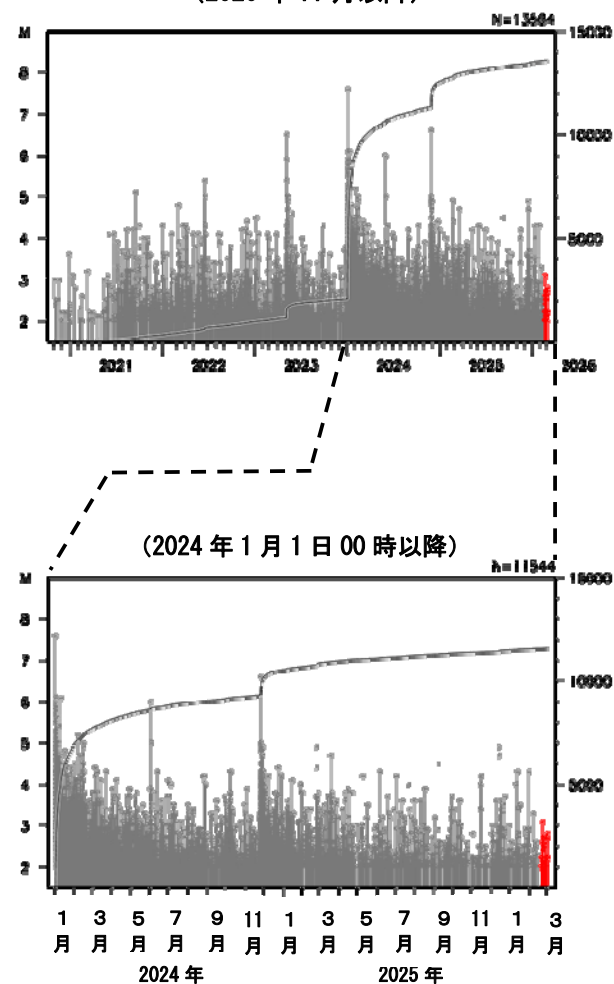


丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。
表示している震源のうち、3月2日00時以降の
ものは速報値。

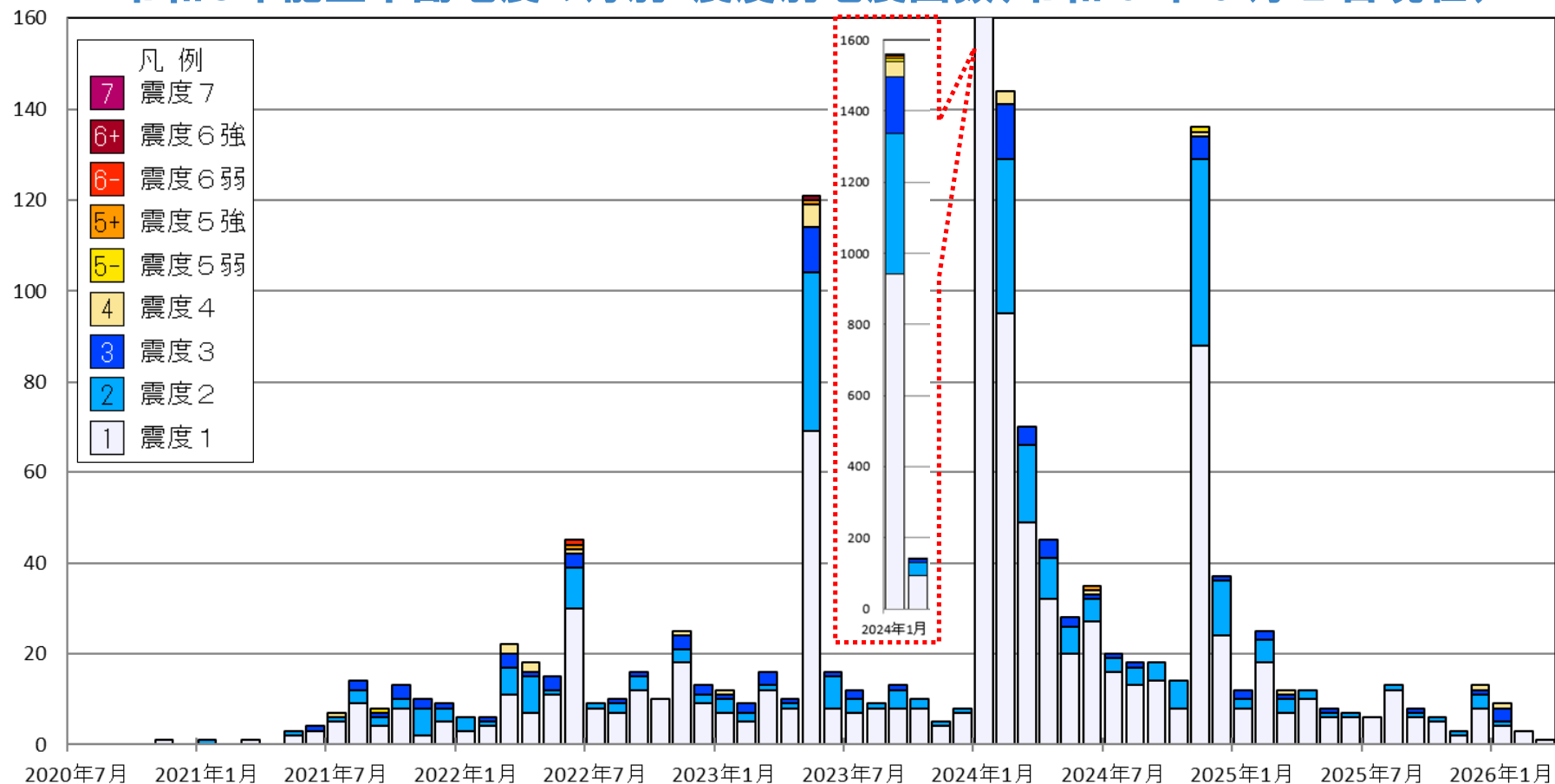
時空間分布図
(矩形領域内:A-B投影、2020年11月以降)



矩形領域内の地震活動経過図
及び回数積算図
(2020年11月以降)



令和6年能登半島地震の月別・震度別地震回数(令和 8 年 3 月 2 日現在)



○2024 年 1 月に震度 1 以上を観測した地震は 1558 回だったが、2 月は 144 回、3 月は 70 回と次第に減少。

11 月にM6.6 の地震が発生し 136 回観測したが、その後も総じて減少。2026 年 2 月は 3 回観測した。

2026 年 3 月は 1 回。

(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

2024 年 1 月 1 日以降と 2023 年 12 月 31 日以前では、数えている地震の震源範囲が違います。2023 年 12 月 31 日以前は、珠洲市周辺を震源とした地震の回数のみを数えています。